令和３年度　府立泉陽高等学校　外国語科（英語）　シラバス（指導と評価の年間計画）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	3	第３学年	東京書籍 「PROMINENCE English CommunicationⅢ」 PROMINENCE Ⅲ WORK BOOK STANDART

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本学年は第１・２学年と連続して「PROMINENCE」シリーズを用いて学習してきた。ある程度分量のある比較的易しい英文を読解する力は身についたが、難易度の高い文章になると正しく読み取る力がまだ不十分である。第３学年では、大学入試の長文読解の対策を意識し、まずは短めの文章を精読することからはじめる。事前に予習を課した上で、授業内では理解の確認と定着を図る。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英Ⅲ」（3 単位）及び「英語表現Ⅱ」（3 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・様々な社会問題について話すことができる. ・事実と意見を区別して話すことができる. ・文章の構成を考えながら話すことができる. ・図表との関連を考えながら話すことができる．"	コミュ英Ⅲ ・ディベート ・発表 英語表現Ⅱ ・インタビューテスト	・様々な社会問題について書くことができる. ・事実と意見を区別して書くことができる. ・文章の構成を考えながら書くことができる. ・図表との関連を考えながら書くことができる．"	コミュ英Ⅲ ・ライティングテスト ・定期考査 英語表現Ⅱ ・エッセーライティング	・様々な社会問題について聞き，その概要を把握することができる. ・様々な社会問題について聞き，その詳細を把握することができる. ・事実と意見を区別して聞くことができる. ・文章の構成を考えながら聞くことができる. ・図表との関連を考えながら聞くことができる．"	コミュ英Ⅲ ・リスニングテスト ・定期考査	・様々な社会問題について読み，その概要を把握することができる. ・様々な社会問題について読み，その詳細を把握することができる. ・事実と意見を区別して読むことができる.	コミュ英Ⅲ ・リーディングテスト ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションをしようという意欲を抱き、積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうと自ら働きかける。	英語で書いたり話したりすることで自分の考えや情報などを的確に伝えることができる。	英語を読み、聞くことで情報や発信者の言いたいことを正しく理解することができる。	英語で伝えられたことの背景にある文化についての正しい知識を持ち、英語を場面に応じ的確に使用することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit1 （８時間）	①人物，日本文化，美術 ②人生の選択，人物，教育，現代社会 ③法律と裁判，異文化理解，現代社会 ④公衆衛生問題，異文化理解，人物，資源の再利用，地域間格差	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		世界でグローバルに活躍する人物の生き方や考えに触れることで自身の考えを育み、相手に伝えようとする意欲を育む。	若冲やNPOを立ち上げたウッド氏、アメリカの裁判事例やNGO団体として活動する人物についての理解を深める。	本文に登場する人物らがどのような思いで行動し、願いを実現させたのかを考察しようとしている。	観察
		「外国語表現の能力」			
		相手に興味を持ってほしいものについて紹介することができる。イラストを見ながら本文の内容を描写することができる。	本文で使われている表現を用いて英語で紹介文を書く。インターネットなどで情報を収集する。	書いた英文で聞き手の興味・関心を促している。 イラスト見てリテリングすることができている。	ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		人物の功績や現代社会にまつわる内容について書かれた説明を読んで、要点や詳細を理解することができる。	美術や教育、法律や地 域開発にまつわる用語を学習し、本文の内 容を理解する。	聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。	発問および応答
		「言語や文化についての知識・理解」			
		日本国内であまり知られていない文化や各国の教育、法律、社会問題について知識と理解を深める。	仮定法 /助動詞 /分詞構文/動名詞	異なる文化や背景を持つ人々について正しく理解し、自分の言葉で言い換えることができる。	要約
Unit2 （40時間）	⑤アメリカの文化,異文化理解 ⑥人権問題,環境問題,グローバル経済,企業活動,現代社会 ⑦教育問題,異文化理解,現代社会 ⑧異文化理解,グローバル社会,異文化間コミュニケーション ⑨脳科学，恋愛感情,ホルモンの働き ⑩企業活動，消費者問題，現代社会 ⑪科学技術,ロボット,コンピューター，先端技術 ⑫動物，科学実験，自然科学	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		異文化や他国の教育問題、科学技術の持つ面白さを知るこで自分の考えを育み、相手に伝えようとする意欲を育む。	文化や制度、科学技術の背景にさまざまな事象に対する理解を深める。	なぜこれらの問題が起きるのか、どのような事柄が関連しているのかを考察しようとしている。	観察
		「外国語表現の能力」			
		本文で扱ったテーマについてプレゼンテーションをすることができる。	本文の内容やインターネットなどで集めた内容をまとめ、考察を加える。プレゼンテーションを行い、他の人と共有する。	調べたことをまとめ、聞き手にわかりやすく伝えることができている。 相手の意見を聞いて、必要に応じて反論できている。	プレゼンテーション
		「外国語理解の能力」			
		他国と自国との文化や概念の違いや近代の社会や科学にまつわる説明を読んで、要点や詳細を理解することができる。	文化や言語、消費者問 題や科学にまつわる用語を学習し、本文の内容を理解する。	聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。	発問および応答
		「言語や文化についての知識・理解」			
		日本国内であまり知られていない文化や各国の教育、法 律、社会問題につい て知識と理解を深	不定詞 /分詞構文/助動詞/ 仮定法	科学の発明や異文化間で起こる現象について正しく理解し、自分の言葉で言い換えることができる。	要約

		める。			

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit3 (20 時間)	⑬環境問題，異文化理解，現代社会 ⑭ コミュニケーション，科学技術，日常生活 ⑮大学教育，問題解決型授業，アメリカ文化 ⑯科学技術，耐震装置，伝統文化	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		環境問題や科学技術、高等教育にみるアメリカ文化の特徴を知ることで自分の考えを育み、相手に伝えようとする意欲を育む。	廃棄物問題や耐震技術、インターネットの通信技術がもたらす功罪について理解を深める。	問題の本質を知ろうとし、それによって影響を受ける人々について考察しようとしている。	観察
		「外国語表現の能力」			
		本文で扱ったテーマについてミニディベートをすることができる。	本文の内容をもとに自分の意見をまとめる。インターネットなどを用いて情報を集める。ミニディベートを行い、他の人の意見を共有する。	自身の意見を主張することができている。相手の意見を聞いて、必要に応じて反論できている。	ミニディベート
		「外国語理解の能力」			
		世界や身の回りで起きている問題とその解決方法のモデルについて説明を読み、要点や詳細を理解できる。	環境問題や通信技術、教育や近代科学にまつわる用語を学習し、本文の内容を理解する。	聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。	発問と応答
		「言語や文化についての知識・理解」			
		発展途上国における廃棄物問題やインターネットを取り巻く問題について知識と理解を深める。	不定詞 /分詞構文/ 助動詞/ 仮定法	環境問題や技術の背景にある事実について正しく理解し、自分の言葉で言い換えることができる。	要約